

令和4年度 加茂市立石川小学校 グランドデザイン

市が目指すまちの姿
笑顔あふれるまち 加茂
学校教育の重点

～目指す子どもの姿～
自ら考え 心豊かでたくましく生きる ふるさと加茂を愛する子ども
【4つの柱】

- ①確かな学力 ②豊かな心
 - ③健やかな体 ④ふるさと加茂を愛する人材の育成
- 【8つの重点事項】
【4つの努力事項】

創立44年（統合・耐震化初年度）新たな石川小学校の構築

教育目標

心をかよわせ
最後までやりぬく子

新石川小学校
顔が・子ども
あふれる・家庭の
笑顔の地

話助挑新

話し合い助け合い
挑戦する集団

【成果目標】

- ◇国語・算数のワークテストで全国平均に達する児童が80%以上。
- ◇授業で友だちの考えを聞いたり、活かしたりすることができる児童が80%以上。
- ◆思いやりをもって友達と仲良く学校生活を送る児童が90%以上。
- ◆家庭や地域の人とあいさつを交わせる児童が80%以上。
- めあての達成に向けて意欲的に運動に取り組む児童が90%以上。
- メディア・ゲームの「家庭の約束」が守れた児童が80%以上。

【石川小職員の姿勢】

- ◆気づき、考え、想像・創造し、助け合い行動する
- ◆子どものわずかな成長を見逃さず、認め喜ぶ
- ◆「分かる」「できる」授業づくりに励む
- ◆多様な課題に知恵を出し合い、柔軟な発想で新たな解決策に取り組む
- ◆保護者の願いや悩み、思いをよく聴き、共に考える

■確かな学力の定着

- ・分かる・できる喜びのある授業の構築：学ぶ目的、学ぶ方法の選択、学び合い、振り返りのある授業の実践

- ・授業と学級づくりの連動：協働的な学びを支える学級力会議の実践
- ・ICT機器を効果的に活用した授業実践の蓄積

■家庭学習の定着

- ・選択肢のある家庭学習の提案と学習習慣の定着

- ・学年に応じた家庭学習の充実(10分×4回)
- ・家庭学習強調週間(各中学校区の取組と連携させて)

■生活科・総合的な学習の時間の充実

- ・新たな学区を含めた地域の歴史、自然、産業、人から学び自分の生き方につなげる学習の展開
- ・将来を見据えたキャリア教育の推進

確かな学力

☆主体的に学ぶび、基礎学力の定着を図ります。
☆他者とかかわる学びを通して、自己の考えを深め、日常生活に生かす子を育てます。

豊かな心

☆自分・相手・周りの人が気持ちよく過ごすための方法を考え、実行できる子を育てます。
☆日常生活を見直し、改善し、助け合いながら生活する子を育てます。

健やかな体

☆自分のめあてに向かって運動に取り組む子を育てます。
☆家庭と共に健康的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯・歯磨き・メディアの約束)の定着を図ります。

■運動に親しむ場の工夫

- ・体育授業の改善(作戦タイムや技の教え合い等関わり合う場の設定)
- ・遊びや運動を促す環境の整備
- ・運動カードの工夫と効果的な活用
- ・チャレンジ種目の実施(タイムチャレンジマラソン、体力テスト、なわとび、泳力検定、鉄棒)

■健康的な生活習慣の定着

- ・元気アップ週間の実施(早寝、早起き、朝ごはん)
- ・歯磨き運動
- ・メディアコントロール

■いじめを許さない心の育成

- ・いじめ防止学習プログラム
- ・中学校区いじめ見逃しゼロスクール強調週間(年2回)
- ・学校生活アンケートと教育相談(年2回)
- ・ネットゲーム、SNSの使い方の周知(PTAと連携した事業や講演会等の実施で子どもの命を守る)

■基本的生活習慣の定着

- ・「三冠王」の取組(気持ちの良い挨拶、命を守るきまりの遵守、思いやりある言動)

■道徳授業の充実と公開

- ・心に響く道徳の時間
- ・全学級授業公開

■思いやる心の育成

- ・目標と日常を振り返り、改善するSWPBSの取組
- ・異学年交流(清掃、児童会、いずみ子チーム、クラブなど)

特別支援教育の推進

- ・個別の指導計画の作成と適切な評価・改善
- ・全校体制での授業改善
- ・交流および共同学習の推進
- ・関係機関との連携
- ・定期的な校内委員会の開催
- ・幼保小中情報の共有と連携

学校間連携

- ・小中連携の一層の推進(2つの中学校区〔葵中学校区・加茂中学校区〕に参加)
- ・幼保小との連携の推進(幼保小情報交換会等)

家庭や地域との連携

- ・PTAやセーフティ・スタッフとの連携と協力～懇談会・会議の開催
- ・学校支援ボランティア(読み聞かせ、ゲスト・ティーチャー等)と
- ・学校評価の着実な実施と公開
- ・学校保健委員会の開催
- ・各種便り、HP、メール等での情報発信

学びを促す環境の整備

- ・新学区と人材の活用
- ・プレイヤーやみんなの森田・畑、鉢植え等の活用
- ・遊具や潤いのある校舎環境
- ・平成園、公民館、体育館、大学・高校(人的交流も含む)等、公的施設との連携

学校統合と耐震化工事への柔軟な対応と活用
～新たな教育活動の創世 両校児童が共に伸びる教育活動の推進～